

# 校内研究

《本校の実態から》

- ・児童は、問題解決の学習の基本的な流れが習得できており、自力解決に向かうが、発表に消極的であったり、分かりやすく表現したりすることが難しい。
- ・教師は、主体的な学びを意識させた授業改善に取り組むが、教師と児童の一問一答式に陥りがちで学び合いや「ねりあげ」に課題がある。

目指す児童像

- ◎たくましい子
- ◎がんばる子
- ◎わかちあう子

《社会的情勢から求められる力》

- ・主体的に学びに向かう意欲
- ・多様な立場の人と協働する力
- ・自ら思考判断、表現する力
- ・基礎基本的な知識・技能

研究主題

学び合う喜びを実感し 共に高め合う子どもの育成  
～算数科における「ねりあげ」の指導の工夫を通して～

研究仮説

算数科の学習において、問題解決的な学習過程をもとに、主体的な学びを高める手立てを工夫し、さらに思考を深め合う手立てを工夫することで、児童は学び合う喜びを実感し、共に高め合おうとすることができるであろう。

学び合い高め合う子ども像

自分の考えをもって、友だちと伝え合い、自他の考えの共通点や相違点に気付いて、考えを広げたり深めたり共有したりすることができる子ども

研究内容

## I 児童の主体的な学びを高める手立ての工夫

- 課題意識のもたせ方
- 具体的で明確な見通しのもたせ方

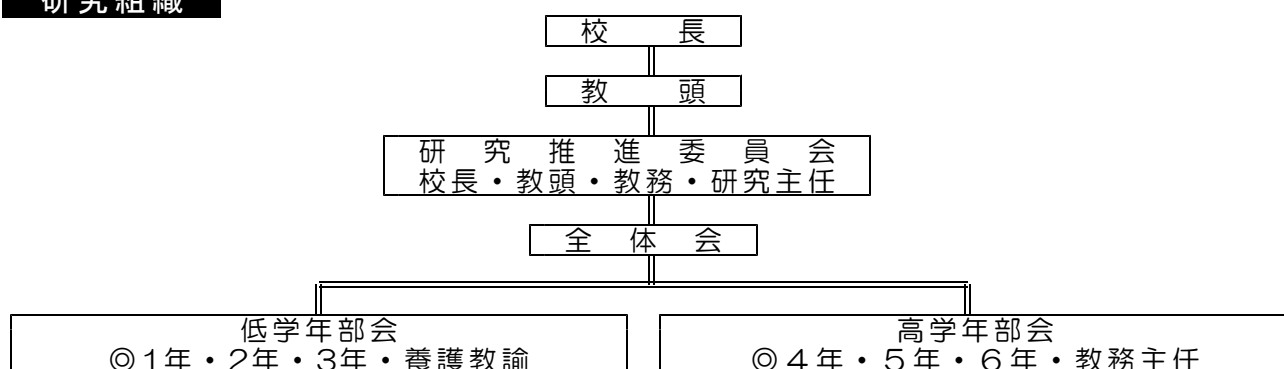
## II 児童が思考を深める手立ての工夫

- 「ねりあげ」における児童の姿の明確化
- 教師の発問や板書の工夫

## III 学力向上に向けた取組

- 問題解決的な学習過程に沿った学び方の定着
- 「話し方・聴き方」の共通実践・指導
- 既習内容の確実な定着（アップルタイムの有効活用）
- 学力・学習状況調査の問題や結果の分析、その手立て
- 学力向上プランの見直し
- 読書の推進
- 家庭学習の手引き見直し
- 自主学習メニューの作成（低・中・高）

## 研究組織



## 年間計画

月	日	内 容	柱
4	4	研究推進 1 今年度の方向性	I II III
	5	全体協議 1 今年度の方向性	I II III
	25	全体協議 2 年間計画 「第四版」の重点指導事項共通理解	III
5	2	研究推進 2 具体的研究内容検討 年間計画	I II III
	9	全体協議 3 具体的研究内容共通理解 授業研究 1 提案授業指導案検討	I II III
	30	授業研究 2 提案授業・研究協議	I II
6	13	授業研究 3 部会授業指導案検討	I II
	15	現職教育 1 凶画工作科実技指導法研修「絵画指導」	
	20	授業研究 4 部会授業・全体研究協議	I II
7	11	授業研究 5 部会授業・全体研究協議	I II
	18	研究推進 3 研究の具体的な方向性検討	I II III
	23	全体協議 4 研究の具体的な方向性共通理解	I II III
8	9	授業研究 6 指導案検討（部会検討）	I II
	21	基礎研究 1 学力調査の結果より、自校の分析	III
	31	現職教育 2 夏季休業中伝達講習	
9	5	現職教育 3 15年経過研修「未定」	
	12	授業研究 7 指導案検討	I II
10	3	授業研究 8 全体授業指導案検討	I II
	10	授業研究 9 全体授業・研究協議	I II
	24	授業研究 10 部会授業指導案検討	I II
11	14	授業研究 11 部会授業・全体研究協議	I II
	28	授業研究 12 部会授業・全体研究協議	I II
12	25	全体協議 5 研究集録作成について	I II III
1	9	授業研究 13 全体授業指導案検討	I II
	30	授業研究 14 全体授業・全体研究協議	I II
2	6	全体協議 6 研究集録作成作業に向けて	I II III
	21	研究推進 4 研究のまとめ	I II III
	28	全体協議 6 研究のまとめ 学力テストの分析結果報告	I II II
3	26	全体協議 7 次年度へ向けて	I II II